

外部委託業者の募集

References: IO/23/CFT/70001038/LLU

"Global Maintenance Services Framework Contract for all the ITER facilities except

Electrical Power Distribution, Infrastructures and Buildings, Codac system and IT common systems"

(配電、インフラ、建屋、Codac と IT 共通システムを除く全 ITER 設備の包括的保守サービスの枠組み契約)

IO 締め切り 2023 年 11 月 1 日(金)

○目的

本入札の目的は、ITER の従来のシステム、構造物、および機器 (SSC) の保守です。それらは、一旦 4 年から 6 年の期間中に運用または試運転を担当する機関に引き渡された場合、少なくとも 2025 年から 2028 年まで続きます。

試運転の支援作業については、作業調整や全体的な責任スキームの点で重複や潜在的な衝突を避けるために、それらを含めるかどうかは既存の建設契約の範囲に依存します。したがって、試運転支援作業が既存の建設契約の対象外である場合には、本契約に基づいて試運転支援作業を行うものとしします。

○背景

保守契約のフォーマットと内容を作成するために、3 つの異なるフェーズで構成される段階的アプローチが定義されています。

2021 年から 2028 年までの期間について、保守契約の範囲を定義する主な要因は以下のとおりです。

- プラントシステムの試運転と各種プラントシステムの現時点から統合試運転終了まで引き渡しスケジュール
- 一部の特定のシステム/areas (配電網の維持と保守及びインフラ・建物)に関する既存のその他の保守契約の範囲;
- 各異なるプロジェクト開発フェーズをサポートするメンテナンス契約間の移行をスムーズに行う必要性。

2021~2024 年の期間において、保守契約の範囲は、主に二次冷却水システム (SCWS) に必要な予防保全作業および SCWS とクライオプラントシステムのシステム) の試運転支援作業です。

2021 年から 2028 (30)年の期間に有効な契約は、以下を保証するものとします。

- 安全コンプライアンス (労働安全衛生) と安全性能;
- 技術力(契約者の応答性、作業品質、システムの可用性...);
- 潜在的な供給者の魅力を生み出すのに十分な範囲 (作業量);
- SAP モジュールによる費用対効果と費用の透明性;
- (技術的な観点から) いくつかの予期しないイベントや (組織の観点から) プロジェクトスケジュールの不確実性に対処する高い柔軟性。

GMSC の一部となる様々なシステムは、以下の回転スケジュールにおいて濃い青色で示されています。

(詳細は英文技術仕様書を参照ください)

○作業範囲

2025-2030年の期間には、既に暫定的に含まれている活動に加えて、また、GMSCの範囲は、各システムターオーバープランに応じて、トカマク冷却水システム、真空および計測システム...の一部の従来型の機器に関連する修正および予防メンテナンス活動も対象となります。

業務の契約範囲には、作業の準備、作業のスケジューリング、作業の調整、予備部品の提供、技術報告書の管理、保守活動の実施が含まれ、これには、すべての従来の機器、次にすべての分野(主に電気、計装、機械、真空...)に対する委託支援が含まれます。

最初の長期保守 (LTM) 作業の準備は、メンテナンス契約と、それを通じて実施される可能性の高い規制検査特定の契約だけでなく、個別に管理されるOEM契約も含まれます。

足場や吊り上げなどのコア以外の活動...は除外されます (オプションで既存の建設契約を使用するための契約者) との間で、OEMの動員と調整はIOの範囲内に留まります。

このアプローチは、次のような利点を生み出すことを意図しています。

- さまざまなプラントシステム間で熟練したリソースの相互運用;
- 様々な分野間の調整の必要性の制限;
- 契約者の管理と安全スタッフおよび物流に関連するコストの最適化;
- 一貫性のあるメンテナンスプロセス、ツール、手順をさまざまなプラントシステムにわたる実装。

を含むIO既存資産の設計変更に関連するエンジニアリングサービス

のマイナーアップグレードがインストールされている間は、調達は契約に含まれません。

安全または信頼性を目的とした構成部品が含まれます。

2025-2030年の期間に維持される機器の推定数を次の表に示します。

(詳細は英文技術仕様書を参照ください)

○暫定調達スケジュール

契約開始日を予定されている引継ぎスケジュールと一致させ、メンテナンス契約実施の場合、以下のスケジュールが対象となります。

- 指名募集開始:2023年第三四半期;
- クロージング事前資格Q 4 2023
- 2024年第一四半期の入札募集
- 契約獲得:2024年第四四半期。

○経験と能力

事前資格を取得した企業及びその人員は、以下を満たす十分な経験・技能・作業/規律を有している必要があります。

- 産業メンテナンスサービス分野における国際的な主要企業での経験
- 次の分野での豊富な経験:

o種々の機械および電気系統の修理および保守（高電圧を除く）

o真空ポンプ/関連する計装および付属品

o分析器の較正を含む計量学

- 週7日 24時間常時オンコールサービスに対応できる能力
- 回転機器、計装機器およびリリーフバルブ機器の修理を携われる現地代表者
... IOサイトから近い周囲（50 km未満）
- 極高を含む極低温プラント環境内でのメンテナンス作業
設備に使用されるガスの純度に関する極めて高い要件および
ガスの純度を確保するための厳しい耐リーク要件。

○契約タイプと契約期間

業務の範囲は、フレームワークサービス契約によって正式に定められます。契約は4年間の初期確定期間と2年間のオプション期間で実施されます。

本契約は、成果義務原則に基づいており、選択されたサプライヤーが安全性能、構成部品またはシステムの信頼性を向上させ（機器またはシステムレベルで）IO資産の健全性レベルの向上と、保守作業の効率向上を提案するように促すための業績KPIを統合するものです。

○候補

参加は、個人またはグループ/コンソーシアムに参加するすべての法人に開放されます。法人とは、法的権利及び義務を有し、ITER 加盟国内に設立された個人、企業又は機構をいいます。

法人は、単独で、またはコンソーシアムパートナーとして、同じ契約の複数の申請または入札に参加することはできません。共同事業体は、恒久的な、法的に確立されたグループ又は特定の入札手続のために非公式に構成されたグループとすることができます。

コンソーシアムのすべての構成員(すなわち、リーダーと他のすべてのメンバー)は、ITER 機構に対して連帯して責任を負います。

コンソーシアムとして許可されるために、その点で含まれる法人はコンソーシアムの各メンバーをまとめる権限をもつリーダーをもたなければなりません。このリーダーはコンソーシアムの各目メンバーのために責任を負わなければなりません。

同じ法人団体に属する法人は、独立した技術的能力と財務的能力が実証できる場合に個別に参加することが許されます。入札参加者（個人またはコンソーシアム）は、事前審査プロセスの間に提示される選定基準に従う必要があります。IO は、重複した参照プロジェクトを無視すること、並びに該当する法人を事前審査手続きから除外する権利を有します。

【※ 詳しくは添付の英語版技術仕様書「**Technical Summary - Global Maintenance Services**

Framework Contract for all the ITER facilities except Electrical Power Distribution, Infrastructures and Buildings, Codac system and IT common systems」をご参照ください。】

ITER 公式ウェブ <http://www.iter.org/org/team/adm/proc/overview> からもアクセスが可能です。

「核融合エネルギー研究開発部門」の HP : <http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/index.html>
では ITER 機構からの各募集（IO 職員募集、IO 外部委託、IO エキスパート募集）を逐次更新しています。ぜひご確認ください。